

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

債券金額と取得価額に差額がないため、取得原価によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 無形固定資産

ソフトウェアの減価償却の方法は定額法によっている。

なお、本年度取得のソフトウェアは事業供用開始していないため償却を行っていない。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,350,000	-	-	300,350,000
小 計	300,350,000	-	-	300,350,000
特定資産				
一般会計積立資産	3,314,492	-	-	3,314,492
姉妹都市交流事業積立資産	5,000,000	2,728	2,728	5,000,000
青少年交流事業積立資産	23,122,084	10,000,000	9,955,493	23,166,591
小 計	31,436,576	10,002,728	9,958,221	31,481,083
合 計	331,786,576	10,002,728	9,958,221	331,831,083

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,350,000	(300,350,000)	(-)	-
小 計	300,350,000	(300,350,000)	(-)	-
特定資産				
一般会計積立資産	3,314,492	(-)	(3,314,492)	-
姉妹都市交流事業積立資産	5,000,000	(5,000,000)	(-)	-
青少年交流事業積立資産	23,166,591	(23,166,591)	(-)	-
小 計	31,481,083	(28,166,591)	(3,314,492)	-
合 計	331,831,083	(328,516,591)	(3,314,492)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	748,000	0	748,000
合 計	748,000	0	748,000

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。
(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,570,792	0	2,570,792
合 計	2,570,792	0	2,570,792

6. 満期保有目的の債券の内訳及び帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳及び帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 平成27年度第1回新潟県公債10年 (額面3億35万円)	300,350,000	299,959,545	-390,455
合 計	300,350,000	299,959,545	-390,455

7. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の区分
補助金 長岡市補助金	長岡市	12,445,285	45,457,000	45,097,769	12,804,516	流動負債
合 計		12,445,285	45,457,000	45,097,769	12,804,516	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 受取寄付金振替	9,955,493
経常外収益への振替額	0
合 計	9,955,493

以上